

2. 重点研究項目

第15章の各項目について1に示した調査結果を分科会で検討した結果、以下の項目について重点的に研究することにした。

(1) 溶接

- (i) 仮付溶接の寸法
- (ii) 予熱
- (iii) 溶接材料の使用区分
- (iv) 非破壊検査
- (v) ビード仕上げ
- (vi) エンドタブ

(2) 仮組立

- (i) 仮締ボルトおよびドリフトピンの数
- (ii) 仮組立の組みかたおよび精度
- (iii) オーバーサイズ孔の使用

第15章のその他の項目については上記の重点研究項目の進歩をみながら取り上げていくことにする。

3. 調査研究成果

(1) 仮付溶接長

「道示15.3.3(6) 仮付溶接」については、“仮付け溶接長さ80mm以上は本当に必要か。主要部材と二次部材に区別できないか。”

これまでの検討経過

1) 道示の変遷調査

道示S39 : 本溶接部の一部となる仮付け溶接は、最小限度にとどめ、とくに欠陥のない溶接でなければならない。仮付け溶接の最小長は40mm以上とする。

道示S48 : 仮付け溶接の長さは80mm以上とし、すみ肉（または換算）脚長は4mm以上とする。

道示S55 : 同上

2) 他基準調査